

第3学年 国語科学習指導案

日 時 令和7年12月19日（金）第5校時

13:25~14:10

対 象 第3学年2組 31名

学校名 墨田区立第一寺島小学校

授業者 伊藤 真珠

会 場 3階 3年2組教室

令和7年度 研究主題 学びを深める児童の育成 ～自分の思いや考えを伝え合う活動の充実を通して～

1 単元名 「イチオシのお話を『見て見て！お話玉手箱』でしようかいしよう」

教材名 『三年とうげ』（光村図書 3年 下）

並行読書材 『はなさかじい』『したきりすずめ』『3びきのくま』『みにくいあひるの子』

『しらゆきひめ』『フランダースの犬』『マッチうちの少女』『にんぎよひめ』

『ヘンゼルとグレーテルのおはなし』『こぶじいさま』『やまなしもぎ』

『おおかみと七ひきのこやぎ』

2 単元の目標

- 登場人物の様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増やし、交流や文章の中で使うことで語彙を豊かにすることができます。 [知識及び技能] (1)オ
- 民話の面白さを紹介するために、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像することができる。 [思考力、判断力、表現力等] C(1)エ
- 民話の面白さを紹介するために、進んで複数の本を読んで、登場人物の気持ちの変化や性格等を「みてみてお話玉手箱」にまとめている。 [学びに向かう力、人間性等]

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
登場人物の様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増やし、交流や文章の中で使うことで語彙を豊かにしている。((1)オ)	読むことにおいて、民話の面白さを紹介するために、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。((1)エ)	民話の面白さを紹介するために、進んで複数の本を読んで、登場人物の気持ちの変化や性格等を『見て見て！お話玉手箱』にまとめようとしている。

4 児童の実態

- ・『まいごのかぎ』の学習では、お気に入りの叙述を見付けることができた児童が多かったが、その理由を登場人物の気持ちや物語の展開と結び付けて考えることができる児童は多くなかった。
- ・『ちいちゃんのかげおくり』の学習では、「ビビッとハート」という言語活動を行った。自分の心にじいんと響いた言葉や文を見付け、交流を通して考えをはっきりさせていく児童が増えた。交流の際に叙述を根拠に自分の思いや考えを伝えることができるようになることが課題である。

5 教材について

本教材は、朝鮮半島に伝わる民話である。民話独特の語り口や歌が登場していて、楽しいリズムがある。朝鮮半島の農村の雰囲気を存分に表現した挿絵とともに楽しく読み進めたい。

場面構成は非常に分かりやすいものである。「三年とうげ」がどのようなところかを、言い伝えとともに解説した第1場面、おじいさんが「三年とうげ」で転んでしまい、病気になってしまう第2場面、トルトリが登場して機転を利かせた提案をする第3場面、おじいさんが提案を実行して元気になる第4場面という構成である。そのため、場面の移り変わりと結び付けて、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について考えることができると考えられる。

また、並行読書材に関しては、民話や昔話を中心に選んだ。場面の移り変わりによる登場人物の気持ちの変化や、登場人物の性格、情景が描かれている作品を選定し、本単元で身に付けたい資質・能力を十分に發揮できるようにした。また、読書に親しんでいない児童もいるため、文章量の少ない作品や内容の易しい作品も準備し、一人一人の興味や読む力に合わせた一冊を選べるようにした。

6 研究主題との関連

（1）目指す児童像

低学年	中学年	高学年
言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする子	言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする子	言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して、思いや考えを伝え合おうとする子

（2）研究主題に迫るための手立て

①言語活動の工夫

ア 言語活動

登場人物の行動や気持ちの変化について「見て見て！お話玉手箱」にまとめ、図書室で全校児童へ紹介する。

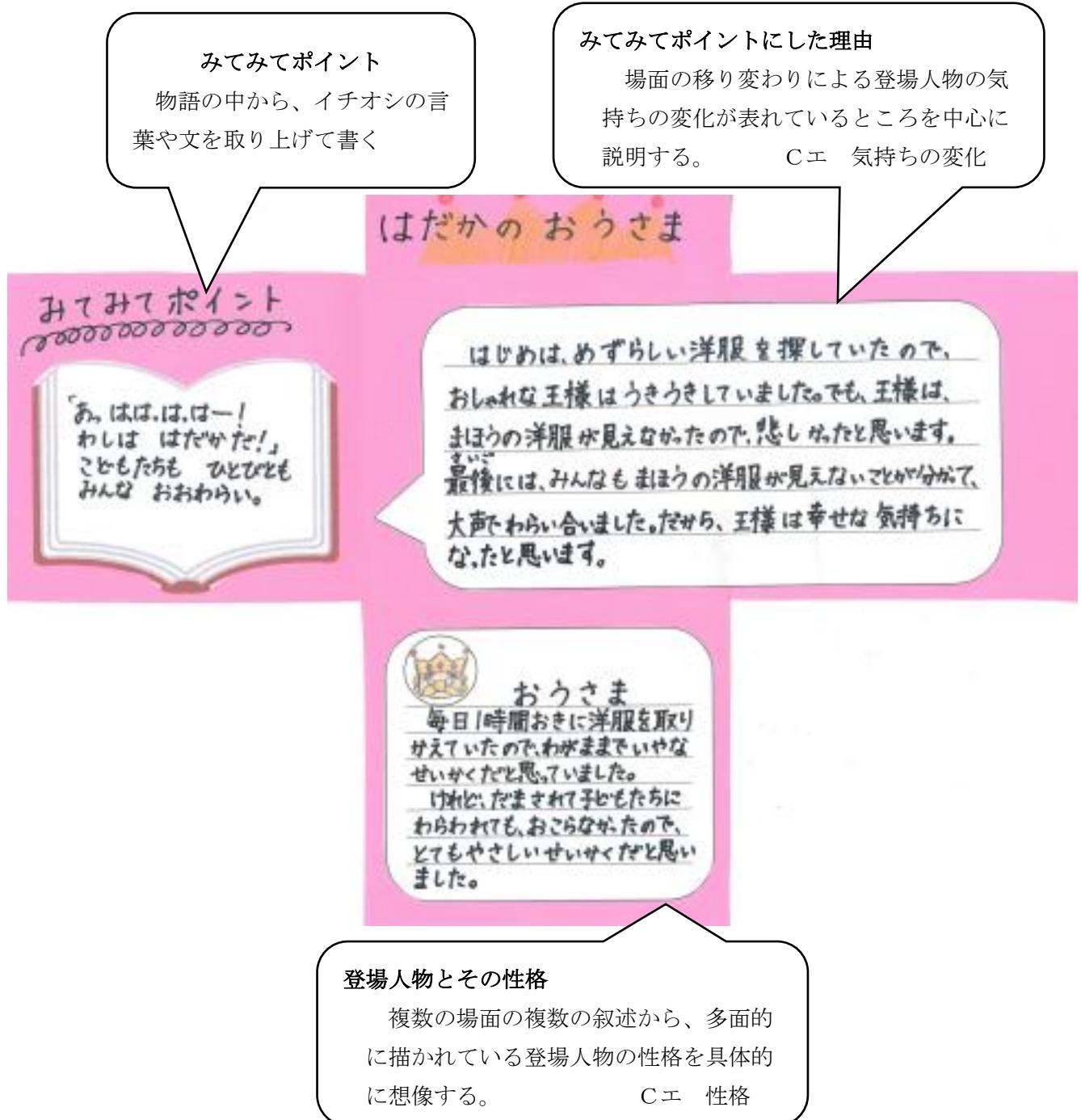
イ 言語活動の特徴

この言語活動は、複数の民話を読み、その中から自分が紹介したいお気に入りの作品を選び、友達との交流を通して、紹介したい理由をはっきりさせ、自分の考えをまとめる活動である。

『見て見て！お話玉手箱』では、①大好きな登場人物について、性格を中心に紹介する部分と②「みてみてポイント」は、イチオシの場面や強く気になる場面の叙述について各部分

と、その理由を説明する部分の2つから構成されている。①では、複数の叙述を基に「登場人物の性格」を多面的に想像したものをまとめる。②では「場面の移り変わりによる登場人物の気持ちの変化」を気持ちが変化する前と後で上述を基に捉え玉手箱形式にしてまとめることとした。

ウ 言語活動モデル



②交流活動の工夫

ア 相手と目的を意識した交流活動の設定

本単元では、気になるところからイチオシを見付け、「見て見て！お話玉手箱」にまとめる活動を設定した。子供たちは「自分の考えをはっきりさせたいから同じ本を選んだ友達と交流したい」や「イチオシがはっきりしてきたから、この言い方で相手に伝わるかためしたい」などの、交流の目的をもって相手を自分で選べるようにした。

また、どんなきっかけでどう気持ちが変わったかなどを交流することで、場面の移り変わりによる登場人物の気持ちの変化や登場人物の性格、情景、物語の展開など、様々な物語の魅力に気付くと考えた。また、本の魅力が友達とは違う視点であることに気付いたり、同じ場面を同じように魅力を感じる面白さに気付いたりする等、多様に想像を広げて読むことができると思った。

イ 交流の進め方をつかむためのモデル動画の作成

紹介したい理由について、友達と交流することによって、自分で伝えたい本の魅力をより明確にすることができると考えた。今までの実践で、子供たちが思いや考えをもっているが、うまく交流できないということがあった。そのため、交流のモデル動画を作成し、交流の目的を明確にしたり、交流の方法を具体的に提示したりした。

- ・子供たちがどのような交流をすれば、当該単元で育てたい資質・能力を発揮した交流になるのか、指導事項と関連させて考えた。
- ・どのような手順で交流を進めるのか、持ち物や席の座り方、返答の仕方などを具体的に提示した。
- ・交流しているときの、全文シートの使い方、線の引き方など、複数の叙述を比較したり、複数の作品を参考にしたりして考えを明確にする手順を示した。

ウ 主体的に交流に参加するため

交流する場面では、次のような手立てで相手を自分で選べるようにした。教科書教材の場合は、全文が掲載されてあるものを黒板に掲示し、子供たち一人一人が、気になるところや紹介の根拠となる言葉や文に付箋を貼った。これにより、本文と付箋を頼りに自分で相手を探せるようにした。また、並行読書材の場合は、並行読書マトリックス表（誰がどんな本を選んだか分かる表）を用いて、誰と交流したいのかを、自分で相手を選んで主体的に交流ができるようにした。

7 単元の指導計画と評価計画（7時間扱い）

次	時	学習活動	学習活動に即した具体的な評価規準
第一次	1	<p>学習の流れを確認しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師作成の「見て見て！お話玉手箱」を見て、学習の見通しをもつ。 ・「三年とうげ」を紙芝居で聞く。 ・自分が紹介したい民話を選ぶために、複数の民話を読み、選んでおく。 	
	2	<p>『三年とうげ』</p> <p>イチオシのところや気になるところを見つけよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『三年とうげ』を読み、イチオシのところや気になるところにサイドラインを引く。 ・全文シートでイチオシのところや気になるところについて交流する。 ・みてみてポイントを書きまとめる。 	<p>【知識・技能】 登場人物の様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増やし、交流や文章の中で使うことで語彙を豊かにしている。（発言・お話玉手箱）</p>
	3	<p>『三年とうげ』</p> <p>交流を通して、イチオシのところや気になるところの理由をはっきりさせよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流するためのモデル動画を見て、交流の仕方を知る。 ・イチオシのところや気になるところについてどんなきっかけでどう気持ちが変わったかなどを交流し、理由をはっきりさせる。 ・みてみてポイントにした理由を書きまとめる。 	<p>【思考・技能・表現】 民話等の面白さを紹介するために、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。 (全文シート、みてみてお話玉手箱)</p>

	4	<p>『三年とうげ』</p> <p>叙述を基に、登場人物の性格を考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時までの交流を想起する。 ・叙述を基に登場人物の性格を具体的に想像して、「みてみてお話玉手箱」にまとめる。 	<p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>民話の面白さを紹介するために、進んで複数の民話を読んで紹介する作品を選び、粘り強く登場人物の気持ちの変化や性格等を「みてみてお話玉手箱」にまとめている。</p> <p>(発言、みてみてお話玉手箱)</p>
第二次	5	<p>「並行読書材」</p> <p>イチオシのところや気になるところを見つける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『三年とうげ』を読み、イチオシのところや気になるところにサイドラインを引く。 ・全文シートでイチオシのところや気になるところについて交流する。 ・みてみてポイントを書きまとめる。 	
	6 (本時)	<p>「並行読書材」</p> <p>交流を通して、イチオシのところや気になるところの理由をはっきりさせよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流するためのモデル動画を見て、交流の仕方を知る。 ・イチオシのところや気になるところについてどんなきっかけでどう気持ちが変わったかなどを交流し、理由をはっきりさせる。 ・みてみてポイントにした理由を書きまとめる。 	
	7	<p>「並行読書材」</p> <p>叙述を基に、登場人物の性格を考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時までの交流を想起する。 ・叙述を基に登場人物の性格を具体的に想像して、「見て見て！お話玉手箱」にまとめる。 	
事後		<p>「並行読書材」</p> <p>図書室に展示し、全校児童に紹介しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・完成した「見て見て！お話玉手箱」を図書室に展示し、全校児童へ紹介する。 	

8 本時（全7時間中の第6時間目）

（1）本時の目標

みてみてポイントを選んだ理由について、場面の移り変わりと結び付けるなどして交流してはっきりさせ、「見て見て！お話玉手箱」にまとめることができる。

（2）本時の展開

時間	学習活動	指導上の留意点	評価規準（評価方法）
導入 (10分)	1 単元のゴールを確認する。 2 前時までの学習を振り返る。 3 本時のめあてを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・言語活動モデルと学習計画表を振り返り、単元のゴールを確認する。 ・全文シートやマトリックス表、交流活動で学習してきたことを確認する。 ・交流のモデル動画を見て、流れを確認する。 	
	みてみてポイントの選んだ理由について、交流を通してはっきりさせ、 「見て見て！お話玉手箱」にまとめよう。		
展開① (20分)	4 イチオシのところや気になるところ（みてみてポイント）について、どんなきっかけでどう気持ちが変わったかなどを交流し、その理由をはっきりさせる。	<ul style="list-style-type: none"> ・並行読書マトリックスを見ながら、自ら相手を選んで交流するように促す。 ・「見て見て！お話玉手箱」と並行読書材の叙述を基に話し合わせるようにする。 ・登場人物の気持ちの変化について、複数の場面に着目している児童を認めていく。 ・交流が停滞しているグループには、教師が3人目のメンバーとして交流に加わり、登場人物の気持ちの変化について場面の移り変わりと結び付けて説明するように促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・民話等の面白さを紹介するため、登場人物の気持ちの変化について場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。 <p style="text-align: right;">C(1)エ</p> <p>【A規準】 民話等の面白さを紹介するため、登場人物の気持ちの変化について場面の移り変わりと結び付けて具体的に説明できる。</p> <p>【B規準】 民話等の面白さを紹介するため、登場人物の気持ちの変化について2つ以上の場面と結び付けて説明できる。</p>
展開② (10分)	5 交流したことをもとに、みてみてポイントにした理由を書きまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> ・なかなか説明が書けない児童には、交流したときに話したことを書くことを伝える。 ・書き方に迷っている児童には、言語活動モデルを提示する。 ・机間指導をしながら、登場人物の気持ちの変化について場面の移り変わりと結び付けて具体的に説明している児童を賞賛する。 	<p>【B基準に達しない児童への手立て】 教師が3人目のメンバーとして交流に加わり、登場人物の気持ちの変化について場面の移り変わりと結び付けて説明する。</p>
まとめ (5分)	・本時の学習を振り返る。	・登場人物の気持ちの変化、を説明している児童を取り上げ、賞賛する。	

